

# 残る任期1年の決意を

「豊後大野市ブランド」の確立を目指す

**質** 橋本市政3年間の総括と、任期最終年に対する決意を伺う。

余すところ1年となります。本年度は、本市がさまざまな分野において躍動する年にしたいと考え、豊かな自然と地域資源を最大限に活用しながら「豊後大野市ブランド」の確立に向け、取り組んでまいります。

**答** 市長

中学校3年生までの医療費助成制度および三重総合高等学校へ通う高校生の奨学金貸付制度を創設し、また、学校耐震化や地域担当職員制度の導入など、政治信条である「1メートルからの民主主義」を基本に多くの方々と真摯に対話を重ね、魅力ある街づくりに向けて全力で取り組んでまいりました。



耐震改築が完了した三重中学校

## 農業振興策は

～ 第2次農業振興計画の実行に努める ～



無所属の会 安藤豊作

**質** 営農支援センターの設置計画は。

**答** 市長

大分県農協の組織体制により、農業振興センターでのワンストップ窓口を生かした利便性はなくなりました。第2次農業振興計画の実行に努めるべく、

平成22年4月に関係機関で構成する「豊後大野市営農普及支援ネットワーク協議会」を発足し、市が核となるネットワーク機能を持ったセンターとして位置付けています。

本市の農業振興を指した各種営農普及事業を総合的に、そして円滑かつ効果的に実施することが可能になると考えています。

**質**

本市農業の主要な畜産部門への振興を図るべきでは。

さらに、その中でも肥育事業への取り組みが重要と考えるが。

**答** 市長

ブランド化を視野に入れた取り組みとして、肥育事業の確立が重要な鍵となっており、畜産振興の課題となっております。

今後の畜産振興だけでなく、肥育施設から生産される有機物は農業振興に強い関わりがあり、重要な課題でもあることから、JAおよび企業などにも打診してまいります。

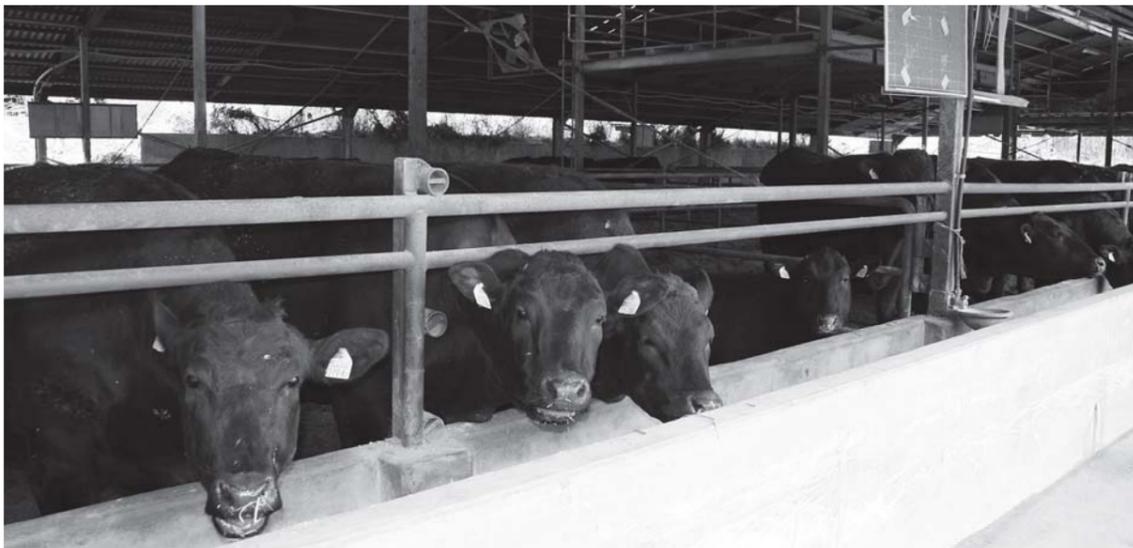
**質**

専門指導員の配置ができないか。

**答** 産業経済部長

畜産は、専門的技術要素が多く、近年では飼育技術・改良・疾病といったあらゆる課題解決手段として強い指導力が求められています。

今後につまましては、JAの今後の機構改革方針や市の機構改革による職員配置なども含め、より良い指導体制を進めてまいります。



朝地肥育牛試験研究センター

## 医師やスタッフの確保の見通しは

～ 関係機関を訪問し、派遣を求める ～

**答** 病院事業管理者

医師の状況は、内科6人、外科4人、小児科2人、整形外科3人、泌尿器科や眼科、放射線科、麻酔科、産婦人科がそれぞれ1人で、合計20人となっております。

内科医・脳外科医の常勤医師の確保ができていないため、大分大学医学部や九州大学医学部、熊本大学医学部などから来ていただいております。外来診療と入院患者の相談に対応していただいております。

看護師については、平成24年度13人を採用し、その他の技師スタッフなどは、既に定数が確保されています。

**質**

市民の期待に応え得る病院体制の確立が望まれているが、医師や医療スタッフの確保の見通しは。

※その他の質問  
・市民生活向上施策について  
・子育て支援と教育の振興について  
・行財政改革の推進と新自治システムの構築について